

【青年委員会活動まとめ】

2023年度の青年委員会活動については、第33期活動方針に基づき、労働運動を担うリーダーの育成、仲間づくり、組織連帯強化において、①青年活動の活性化、②青年の要求実現、③学習・研修・レクリエーション活動の推進、④社会参加・ボランティア活動を柱に据え、四役会議・幹事会、専門委員会（教育・イベント委員会など）で協議し活動を推進してきた。

今期はじめに、連合兵庫青年委員会役員相互の意見交換と、連合兵庫役員との意見交換をおこない、青年層への連合運動の「理解・浸透」や、「仲間意識・連帯感」の醸成をはかるための取り組みについて意識共有をはかった。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行されたが、各種会議におけるWeb併用開催を継続し、役員が参加意識をもって年間計画を推進することができた。

3年に1度開催している連合近畿ブロック第10回「ユースラリー」が和歌山県で開催された。

連合兵庫青年委員会役員からも代表者（実行委員）を選出し、2府4県の青年委員会代表者が集まり、約1年をかけて企画検討を進めてきた。

『連合30周年！今こそ原点回帰！近畿のWA』をテーマに掲げ、ここ数年控えられていた、宿泊をとまなう活動や大人数での会食などもおこない、参加者相互の交流を深めることができた。また、様々な活動を通して、連合に集うことの意義や“face to face”の良さを改めて感じることで、次世代リーダーとしての青年の熱い想いを醸成できる取り組みとなった。

連合兵庫青年委員会の取り組みでは、労働運動を担うリーダー育成におき、連合の平和運動の取り組みについて、街頭でのマイクアピールをおこなった。

また、「2023交流イベント」を開催し、若者のコミュニケーション力向上をめざし、「仕事・プライベートに役立つリアルコミュニケーション」をテーマにした講演と、LINEを活用した謎解きウォークラリーを実施した。参加者アンケートには、「新しい出会いがあり良かった」「楽しく参加できた」などの感想が多く、参加者のつながりと青年委員会役員の連帯感が深まる取り組みとなった。

連合本部や連合兵庫が主催する行事・研修会などについても、積極的に参加し、労働運動への意識向上をはかることができた。

第94回兵庫県メーデー神戸中央大会では、青年委員会役員がメーデー実行委員として参画し、フードドライブや募金活動などの支援活動に協力した。改めて、組合の原点でもある「支え合い・助け合い」の精神を再認識できた。

最後に、連合本部は、次世代を担う若者の「理解・共感・参加」で、若者とともに進める参加型の運動の展開にあたって、好事例、先進事例を推進し運動の検証をおこなうこととしている。連合兵庫青年委員会としても、引き続き青年が参加しやすい活動内容を検討し、労働運動・組合活動の「理解・共感・参加」に繋がる取り組みの展開に努めていきたい。